



フットボール

西川副小学校だより

第7号

学校教育目標:よく学び 助け合う 元気な子の育成

～かしこく やさしく たくましく 笑顔輝く西っ子～

自分を大事に そして人を大事に！ 自分で考え、動きます！

令和5年7月3日

文責 校長 大石 文枝

～ いよいよ 7月、1学期最後の月です ～

いよいよ7月を迎えました。早いもので、1学期の最後の月です。

まだ、梅雨も明けてはいないし、すっきりしない天気はじめじめした天候は、今しばらく続くかと思われまます。雨が降ると、少し肌寒かったり、湿気でノートやプリント等もべたついたりして不快指数も高まります。また、梅雨の晴れ間のお天気が良い日には、暑さ指数も高い数字をはじきだし、これもこの時期の不快指数につながります。発熱や体調不良でのお休みの子どもたちもちらほらいます。こういう時期は、体調の管理も難しいなあと感じています。

これから学校の方では、1学期末のテスト等も多くなり、学習のまとめを行う時期になります。子どもたちが持ち帰るテストや学習プリント、学習ドリル等、時間があるときに目を通していただくと子どものがんばりや苦手なところ等、分かっていたのではないかと思います。

子どもたち一人一人のことについては、7月10日(月)からの個人懇談で担任からお伝えをします。

子どもたちには、体調を整えながら、1学期最後の一ヶ月、学習の習熟期としてしっかりと取り組んでほしいと思っています。

お知らせ

【個人懇談】～お待ちしております～

7月10日(月) 11日(火) 13日(木) 14日(金)

詳細は、担任からの計画表にてご確認ください。

☆またまた、1年生の保護者様からのうれしいお便り☆ 「優しい心遣いありがとう！」

「昨日の朝は降っていなかったのに、下校するころには雨が降り出しました。傘を持たせていなかったの、主人がお迎えに行きました。そのときのことで。正面玄関から車まで「ぬれちゃいますので。」と言って、傘に入れてくれた子がいました。どの学年なのか、誰なのかは分かりませんが、優しい子どもたちばかりで感動です。」(1年保護者様の連絡帳より)

連絡帳を読ませていただいてこちらが感動をしました。

「人を大事に、自分で考え、動いている素敵なきらりさん」だと思えます。

早速、このこともお昼の放送で紹介をしました。これからも西っ子の「やさしさ」の花がどんどん育っていくように応援していきたいと思えます。

《通学路工事のお知らせ 注意喚起》

先週、通学路整備工事のお知らせのプリント(深町建設株式会社作成)を配布しました。この工事は西川副小学校の通学路である市道南里小々森線の路肩を整備(カラー舗装)し、登下校時の児童の安全を確保する工事です。工事時間は、9時から17時まで。登校時刻には、まだ工事は始まっていませんが、下校時刻には工事をされています。工期も令和5年7月3日から10月13日までと長いです。学校の方では、この道を通学路として使っている子どもたちを集めて、生徒指導担当から気をつけるように注意喚起をしました。ご家庭でも配布したプリントをご覧ください。もちろん、放課後や休みの日などその道を行き来することも想定されますので、全児童へプリントを配布しています。どうぞ、よろしく願います。

◆1年生手洗い指導◆

6月11日（日）のフリー参観デーに、1年生は、佐賀県食品衛生協会中部支部から2名のゲストティーチャーをお招きして、手洗い指導を行いました。ゲストティーチャーの方は、実際に川副町で食品を扱う仕事をされている人たちです。お二人とも食べ物を扱うということで、手洗いにはとても気を遣いながら仕事をされています。そこで、子どもたちには「手洗い名人」として紹介しました。子どもたちは最初から、真剣に話を聞いていました。



手洗いの話を真剣に聞く1年生

その後、手洗いを実際に行いました。自分たちがやっている普段の手洗いでは、手首や爪の周り等に洗い残しがあることがわかり、驚いた様子でした。

そこで、これではいけないと手洗い名人に「正しい手の洗い方」を教えてもらいました。子どもたちは、自分の洗い残しの癖に気をつけながら名人のまねをして、正しい手洗いの仕方を学ぶことができました。最近の手洗いの様子を遠目で見ていますと、以前に比べて、しっかりと手洗いができているようです。ぜひ、続けてほしいと思っています。

◆5年生田植え体験◆

毎年、5年生が行っている農業体験。西川副小学校では、これまで何年も鮮豊会が中心となり、JA、老人会の皆様のご協力もいただきながら農業体験を実施していました。しかし、鮮豊会もメンバーが交代され、その人員も少なくなったということで、農業体験から手を引かざる得ないとの相談を受けました。そこで、学校の方では、どうしようかと協議していたところ、北村PTA会長が仲立ちとなってくださり、5年の坂本さんの保護者様が「うちでよければ子どもたちの農業体験、引き受けますよ。」と申し出てくださいました。なんとありがたいことでしょうか。これまで、長年にわたって実施してきた農業体験でしたので、「やめるのは・・・」と思い、困っておりました。坂本様のご厚意により今年度も農業体験が実施できる運びとなり、6月27日（火）に田植えをさせていただきました。

鮮豊会やJAの方々には手を引かれましたが、老人会の皆様は、これまで同様、ご協力いただけるということで、田植えの当日は十数名の皆様がかけつけてくださいました。また、PTA会長の呼びかけで、役員の方もお手伝いに来てくださいました。本当に感謝しかありません。地域や保護者の方々に支えられている学校だと改めて実感をしています。

さて、子どもたちの方とはというと、最初は、水田の中におそろおそろ入った子どもたちでした。しかし、次第に水田の感触にも慣れ、水田の中で「足がぬけない！」と言っては、きゃっきゃと喜ぶ笑顔もありました。

苗を植えては、一步下がり、また一株植えます。植えるこつもすぐにつかみました。ただ、気がついたら全身の洋服が泥まみれになっている子もいました。（きっと洗濯が大変だったことでしょう。）でも、それはそれで良い思い出、貴重な体験として心に



まずは、植え方を
レクチャーしてもらって



田んぼに入って
一列に並んで

刻まれたことでしょう！ 秋の収穫まで時々、成長の様子を観察する予定です。「農業の仕事」を社会科で学びながら、稲刈りの日を心待ちにしている子どもたちです。